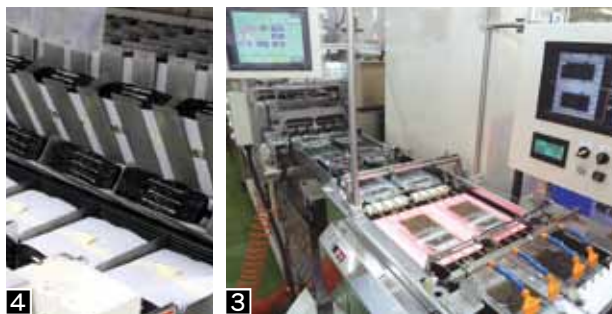




## 株式会社 ヤマコ 柳川工場

「コンビニ向けのおにぎり用海苔の製造では業界一」



1 おにぎり用の海苔の製造ラインで最終検査をする従業員 2 柳川工場。昭和38年から親会社の小浅商事(株)の工場として使われていたため、入口には「小浅商事」の看板が残る 3 おにぎり用の海苔を製造する機械。1分間に250枚以上を製造 4 おいしい海苔を提供したいとの発想から開発された、世界で唯一の連続乾燥機。世界で同社のみ稼働

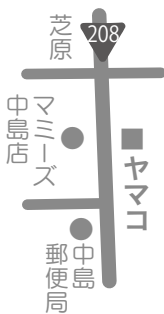
今回紹介する企業は、コンビニおにぎり用の海苔など業務用海苔の製造加工を行う、株式会社ヤマコ柳川工場です。同社は昭和49年、海苔問屋最大手の小浅商事株式会社(名古屋市)の関連会社として、愛知県安城市で創業。2年後の昭和51年には有明海苔の産地に近い大和町に、55年には佐賀に工場・倉庫を開設します。創業当時は、海苔の火入れ(乾燥)と保管のみを行っていましたが、昭和の終

わりごろからコンビニおにぎり用海苔などの需要が高まり、業務用海苔の加工を手掛けるようになります。贈答用中心だったのが業務用中心へ、海苔の需要の変化に伴い、同社は業務用海苔の加工・製造に力を入れ、事業規模を拡大していきます。

ります。近年は、東南アジアや欧米など海外でも海苔の消費量が増えているとのこと。同社の強みである、長年培った海苔加工の技術を生かして、グループ企業と一体となり、世界中の人たちにおいて海苔を届けています。

### 【企業情報】

- 所在地＝大和町中島 461  
☎ 76・0511
- 柳川工場長＝幸田雄二
- 従業員＝130人
- 売上高＝143億円(会社全体)



しかし柳川工場では1日最大72万食分。会社全体では250万食分を製造するなど、国内で消費される海苔の約3割のシェアを有しています。柳川工場長の幸田雄二さん(佃町、49歳)は「わが社のコンビニ向けのおにぎり用海苔の生産は業界一。また、品質や衛生管理の厳しさも業界一ではないでしょうか」と胸を張

「従業員とその家族の幸せが会社の繁栄」という考えのもと、これからも世界へ、海苔を通して、地域社会への貢献と職場環境の改善に取り組んでいきます。

【問】市商工・ブランド振興課 企業誘致・ベンチャー支援係 (☎77・8762)